



# 2015年3月期 決算説明会

---

決算総括および中期経営計画

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2015年5月13日

## 本日の内容

---

- Chapter 1      2015年3月期 決算総括
- Chapter 2      前中期経営計画(2013年5月公表)の振り返り
- Chapter 3      中期経営計画(2016年3月期～2018年3月期)
- Chapter 4      2016年3月期 業績予想

補足資料      中期経営目標  
参考情報

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。



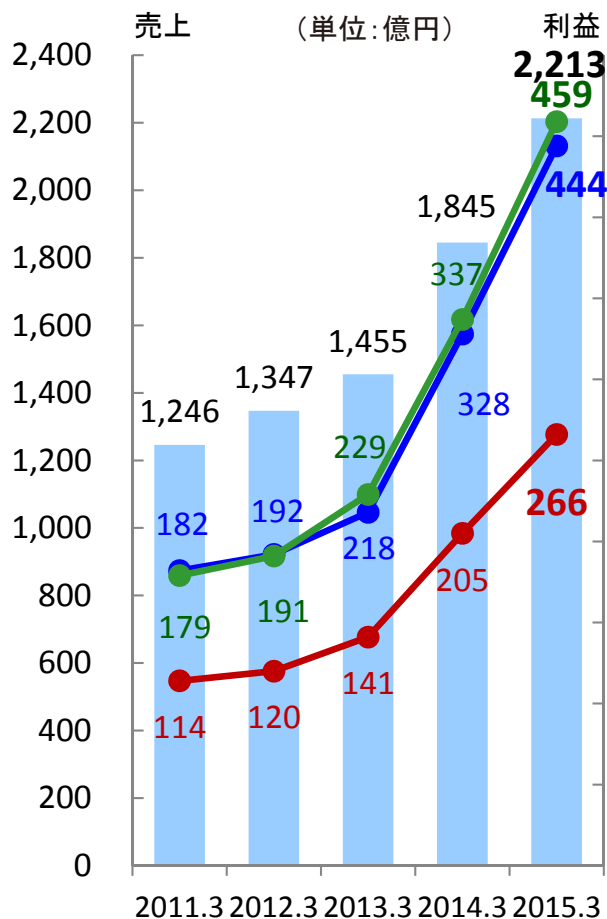
## Chapter 1

---

# 2015年3月期 決算総括

# 決算総括

売上高：15期連続増収、営業利益：14期連続増益  
 - 売上高、全ての利益において過去最高を達成 -



※2015年3月期1Qからサービスコスト等の会計方針を変更しています。  
 ※公表は2014年11月公表

※P40(参考情報)参照  
 (単位: 億円)

	2015年3月期		2015年3月期		前年同期		前年同期比
	公表※	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,100	100%	2,213.7	100%	1,845.3	100%	120.0%
売上原価	-	-	953.5*	43.1%*	699.4	37.9%	136.3%
販売費及び一般管理費	-	-	816.0*	36.9%*	817.2	44.3%	99.9%
営業利益	410	19.5%	444.1	20.1%	328.7	17.8%	135.1%
経常利益	407	19.4%	459.5	20.8%	337.8	18.3%	136.0%
当期純利益	249	11.9%	266.3	12.0%	205.7	11.1%	129.5%

● 売上高： 中国、EMEAが大幅に伸長し、円安の影響もあり海外を中心に二桁増収

● 営業利益： 増収効果および円安の影響もあり大幅増益

● 営業外損益： 為替差益 9.3億円 (前年同期 為替差益 4.1億円)

➤ 為替の影響 売上：+111.6億円 営業利益：+70.7億円

※前年同期為替レート適用の場合：売上高 113.9%、営業利益 113.6%

● 設備投資(有形) 139.0億円 減価償却費112.5億円 研究開発費146.9億円

	15.3期実績	前年同期
1USD	109.9円	100.2円
1EUR	138.8円	134.4円

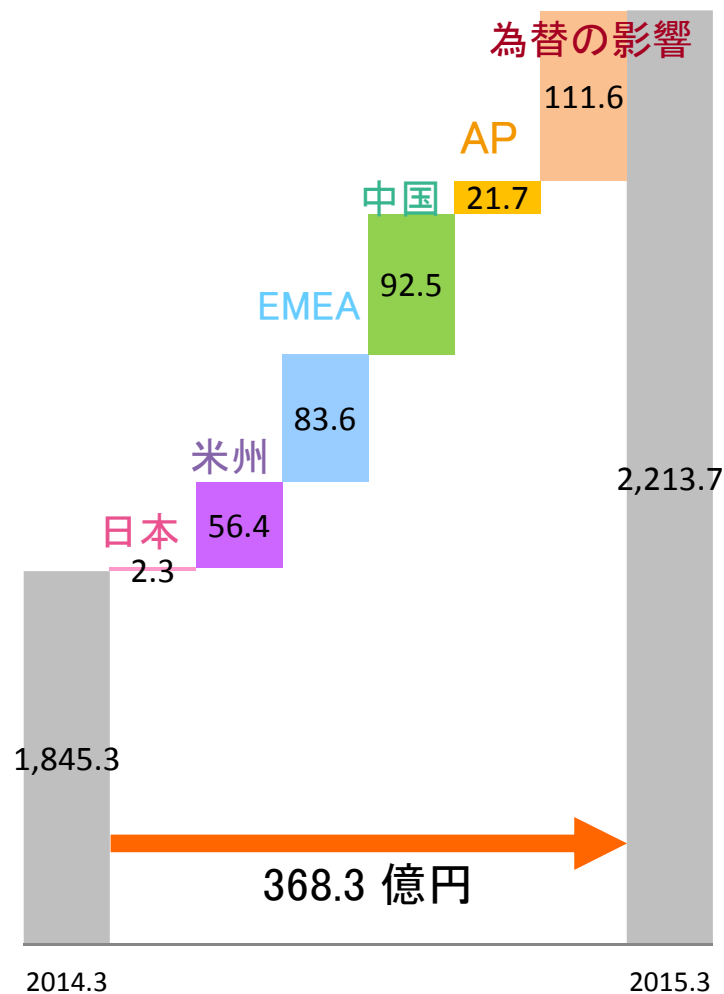
# 売上高・営業利益の増減要因



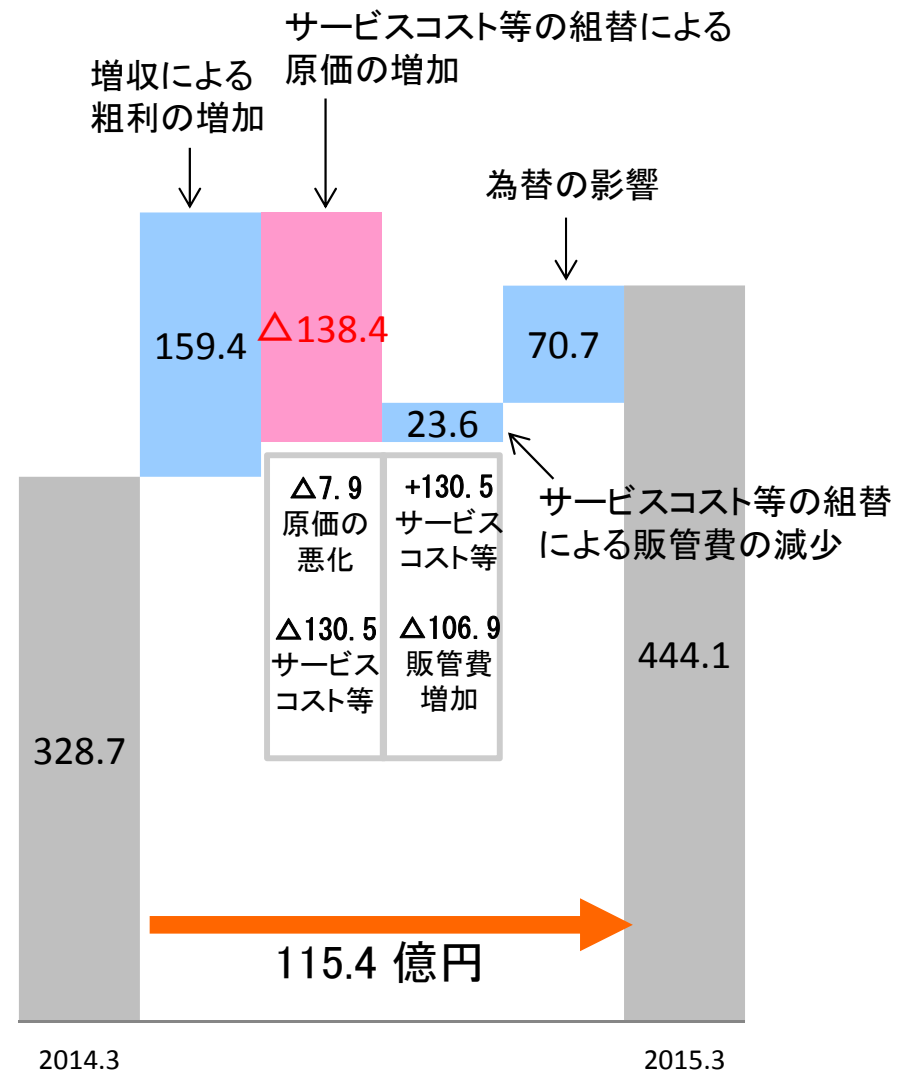
(単位:億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益

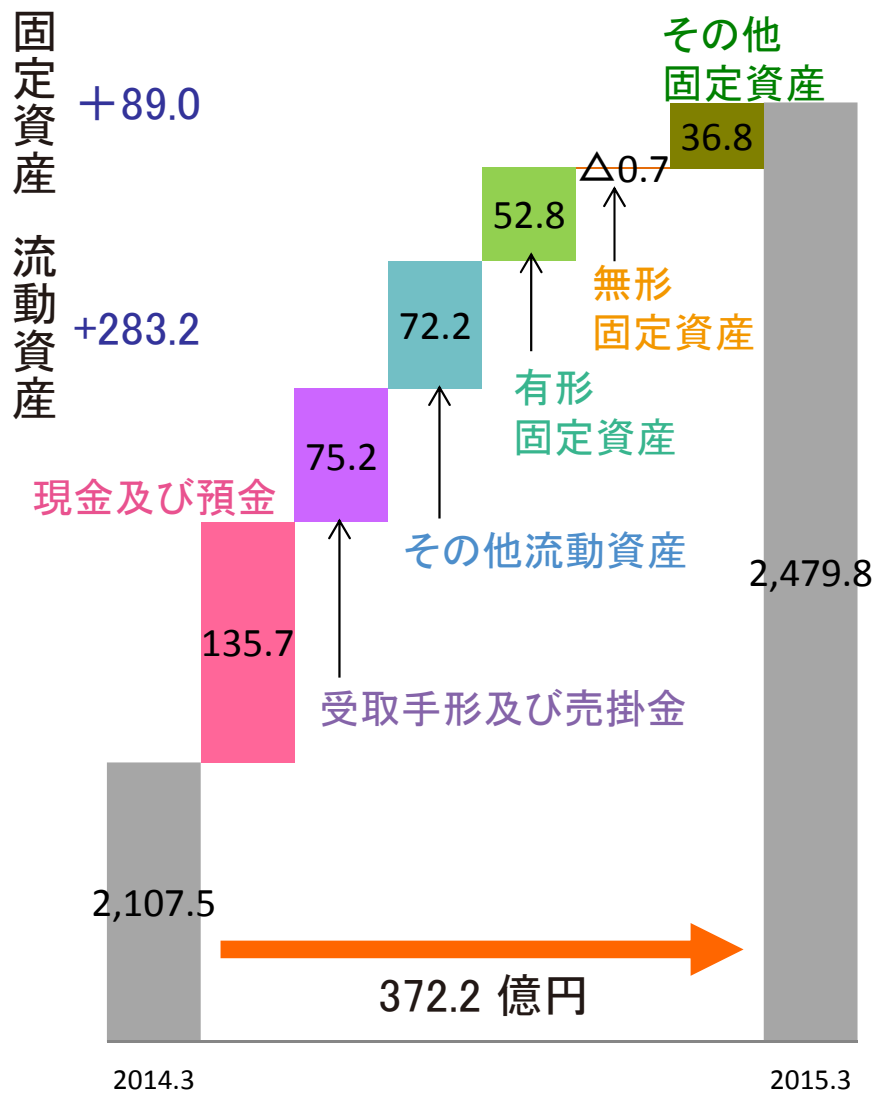


# 貸借対照表の増減要因

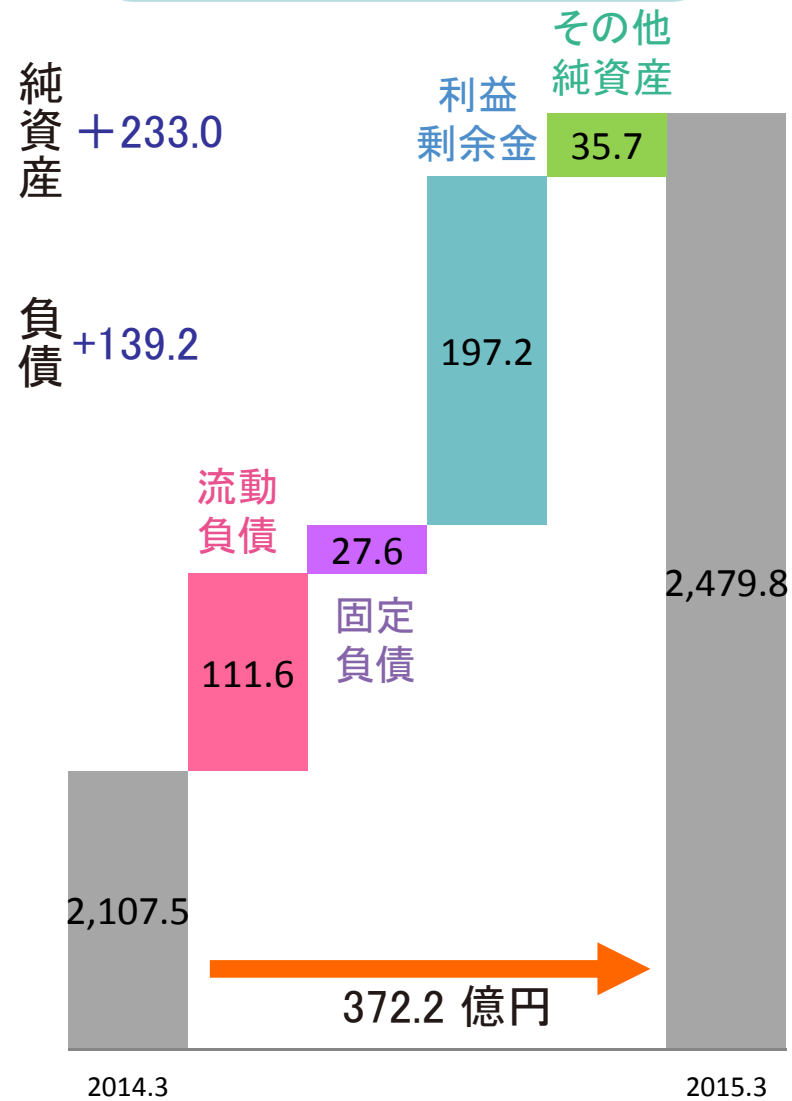


(単位: 億円)

## 資産の部



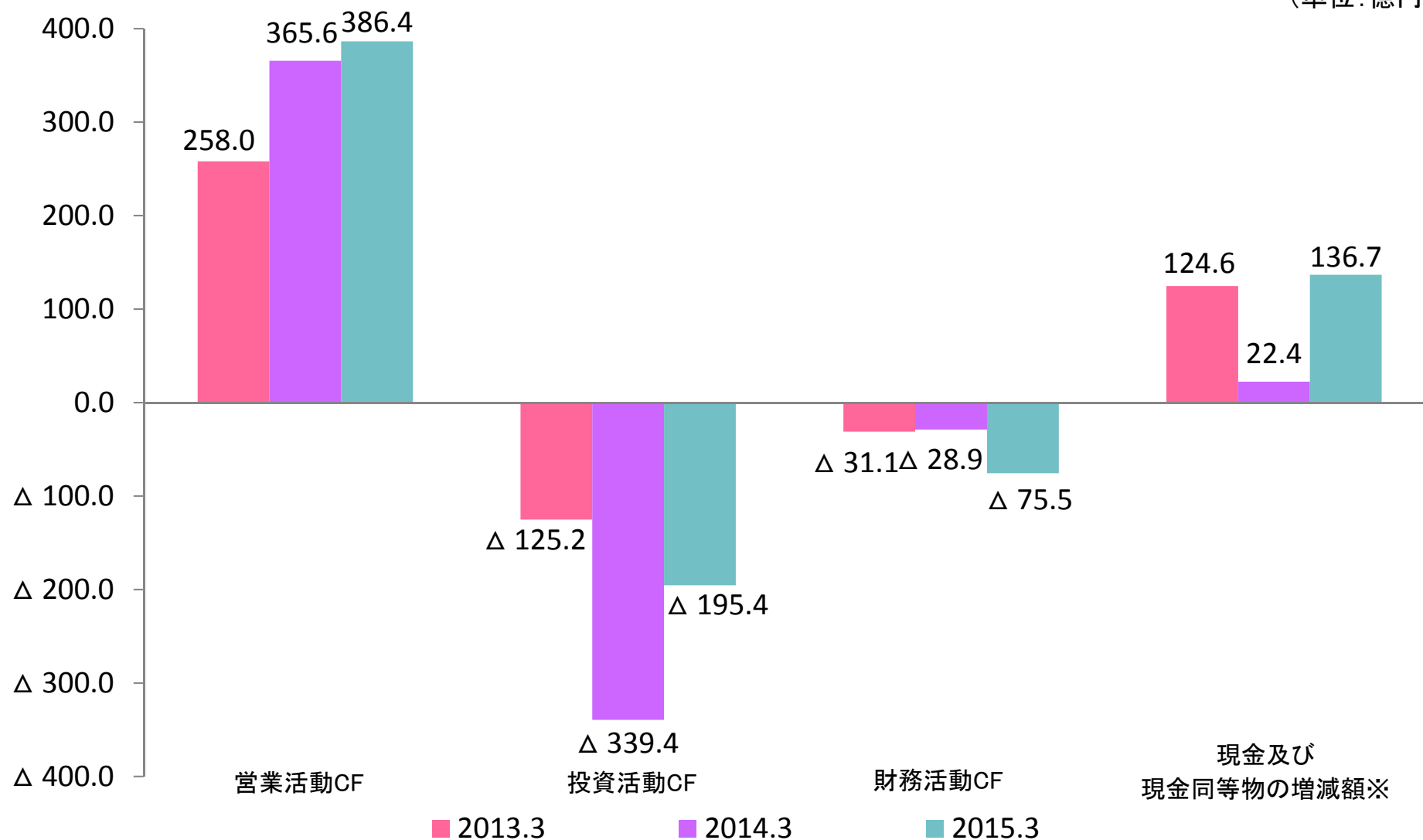
## 負債・純資産の部



# キャッシュフローの推移



(単位:億円)



※現金および現金同等物に係る換算差額も含まれております。

# トピックス①

## M&A・アライアンス

- InosticsがMerck Seronoと血中遺伝子検査技術による大腸がんコンパニオン診断薬の共同開発契約を締結 (2014年5月)
- 理研ジェネシスへ出資し、遺伝子検査における研究開発および事業を推進 (2014年6月)

## 拠点整備

- インドにおけるノンヘマトロジー分野の事業拡大に向け、直接販売・サービス体制を強化 (2014年4月)
- 中南米におけるビジネス拡大を目指し、コロンビアに現地法人を設立 (2014年5月)
- 機器生産基幹工場「アイ スクエア」を兵庫県加古川市にオープン (2014年6月)
- 需要拡大に対応するためシンガポールの試薬生産工場を移転・拡張 (2014年9月)
- AP地域でのさらなるプレゼンスの向上を目指し、オーストラリアに現地法人を設立 (2014年11月)
- 新たな人材開発拠点「グローバル コミュニケーション センター」をオープン (2015年4月)

アイ スクエア





## 製品・技術

- アトピー性皮膚炎の検査試薬「HISCL® TARC試薬」を発売 (2014年4月)
- 免疫血清検査のコンパクトモデル「全自動免疫測定装置 HISCL-800」を発売 (2014年9月)
- 血液凝固検査の新モデル「全自動血液凝固測定装置 CS-2400/2500」を発売 (2014年10月)
- 血液凝固検査のコンパクトモデル「全自動血液凝固測定装置 CS-1600」を発売 (2015年1月)
- 将来的な子宮頸がんスクリーニング検査の効率化を目指した細胞診断分野の新製品「剥離細胞分析装置 LC-1000」を発売 (2014年11月)
- XNファミリーのコンパクトモデル「多項目自動血球分析装置 XN-Lシリーズ」を発売 (2015年1月)



CS-2400/2500



CS-1600

全自動血液凝固測定装置

# 所在地別売上高

- 所在地別売上高  
(外部売上)

(単位:億円)

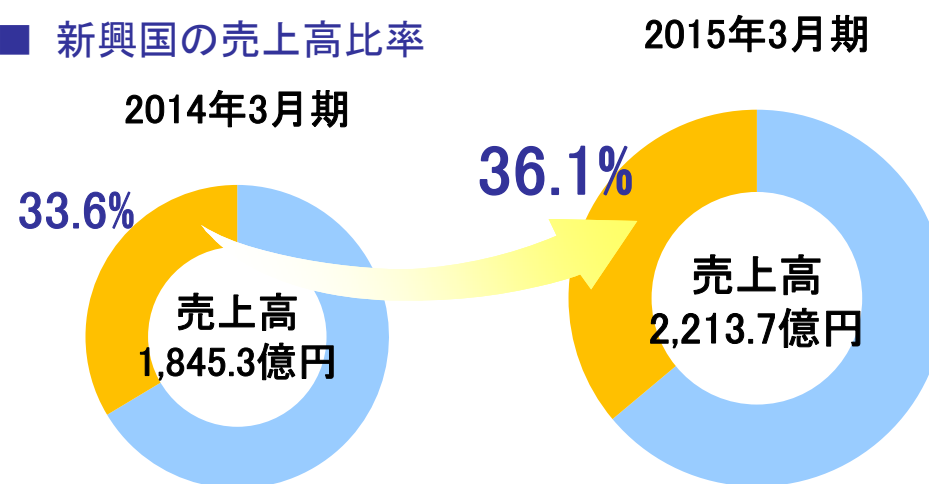
		2015年3月期		前年同期		前年同期比	
			構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		2,213.7	100%	1,845.3	100%	120.0%	-
所在地別	米州	470.1	21.2%	385.9	20.9%	121.8%	111.1%
	EMEA	632.5	28.6%	531.9	28.8%	118.9%	115.1%
	中国	498.3	22.5%	362.5	19.7%	137.5%	126.1%
	AP	178.6	8.1%	147.3	8.0%	121.3%	-
	日本※	433.9	19.6%	417.5	22.6%	103.9%	-

※ IDEXX社等含む外部売上

- 為替レート

	2015年3月期	前年同期
1USD	109.9円	100.2円
1EUR	138.8円	134.4円
1CNY	17.8円	16.3円

- 新興国の売上高比率



# 事業別売上高



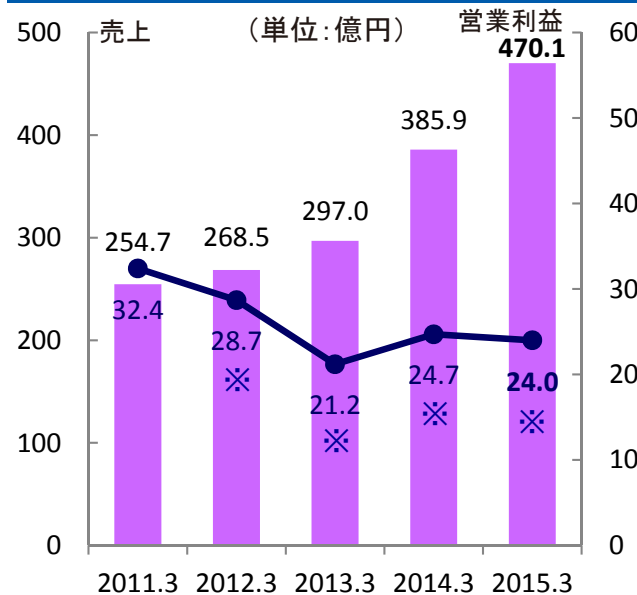
(単位:億円)

	2015年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
ヘマトロジー	1,409.6	63.7%	1,195.9	64.8%	117.9%
尿	164.3	7.4%	144.8	7.9%	113.4%
その他 <sup>※1</sup>	14.6	0.7%	4.2	0.2%	348.9%
HU-BU	1,588.6	71.8%	1,345.0	72.9%	118.1%
免疫	47.2	2.1%	21.1	1.1%	223.2%
生化学	37.2	1.7%	37.0	2.0%	100.5%
凝固	336.5	15.2%	278.9	15.1%	120.6%
ICH-BU	421.0	19.0%	337.2	18.3%	124.9%
LS-BU	31.4	1.4%	17.2	0.9%	182.0%
その他 <sup>※2</sup>	172.6	7.8%	145.8	7.9%	118.4%
売上高 計	2,213.7	100.0%	1,845.3	100.0%	120.0%

※1 臨床用FCM製品等

※2 臨床検査情報システム(従来「HU-BUその他」に区分)、仕入商品(従来「その他IVD」に区分)、研究用・産業用FCM製品等

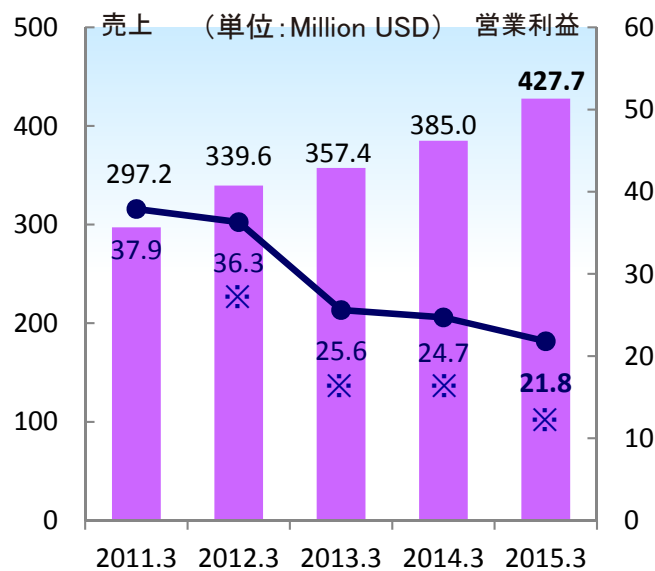
# 米州における取り組み(所在地別)



	(単位: 億円)		
	2015年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	470.1	385.9	121.8%
営業利益*	24.0	24.7	97.0%

- 米国医療制度改革の本格施行による市場の回復とXNシリーズの販売好調に伴う機器および試薬売上が伸張し大幅増収
- 大幅増収となるも、グループ間取引価格の見直しの影響により微減

- ・サービス繰延収益の取崩に伴う一時的な売上・利益の増加  
(当期売上+4.2億円、営業利益+3.6億円)
- ・上記を除外した場合の前年同期比: 売上120.7%、営業利益82.6%



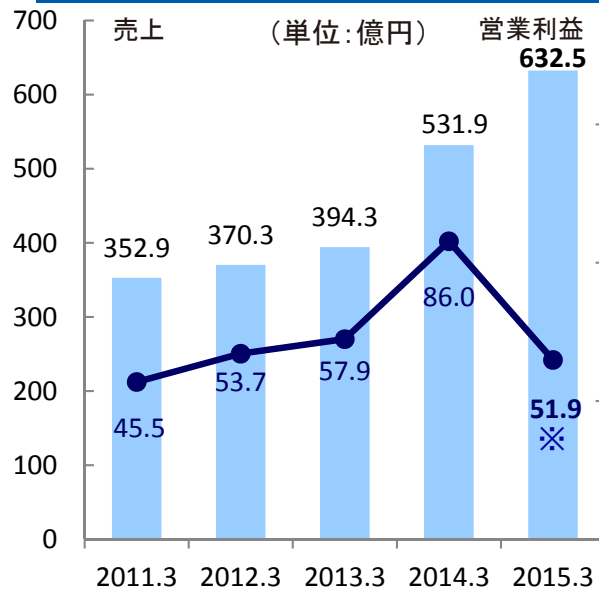
■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 111.1%、営業利益 88.4%\*

- 米国 : 機器に加え試薬およびサービスが伸長し増収
- カナダ : 医療費予算削減が継続するも増収
- 中南米 : メキシコ、コロンビア、コスタリカ等のヘマトロジー製品の販売拡大により増収

■ 売上高 ● 営業利益

\*グループ間取引価格の見直し

# EMEA※における取り組み(所在地別)

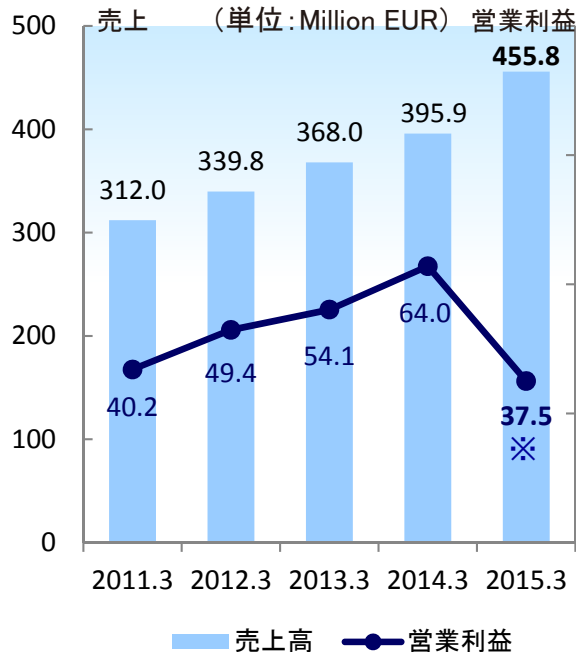


※欧州、中東、アフリカ地域

	(単位: 億円)		
	2015年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	632.5	531.9	118.9%
営業利益※	51.9	86.0	60.4%

- ヘマトロジーや凝固分野の売上伸長に加え、Partec、Inosticsの連結の影響もあり増収
- 二桁増収も当期からのグループ間取引価格の見直しにより減益

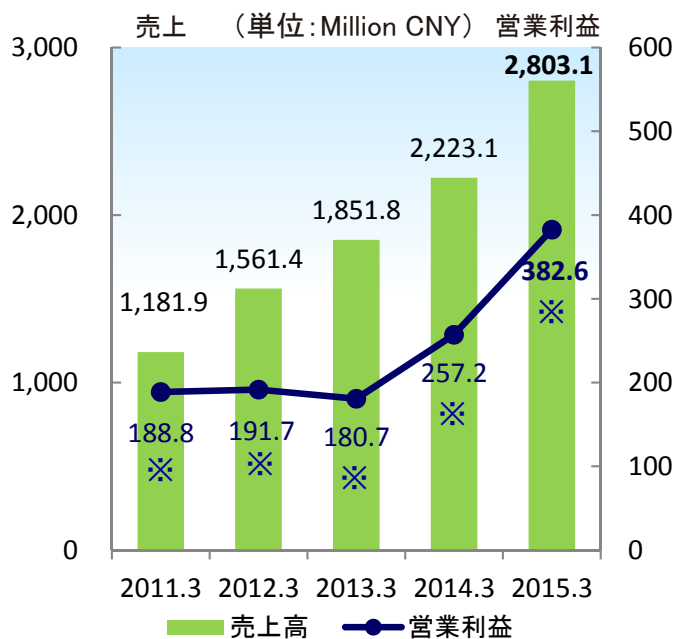
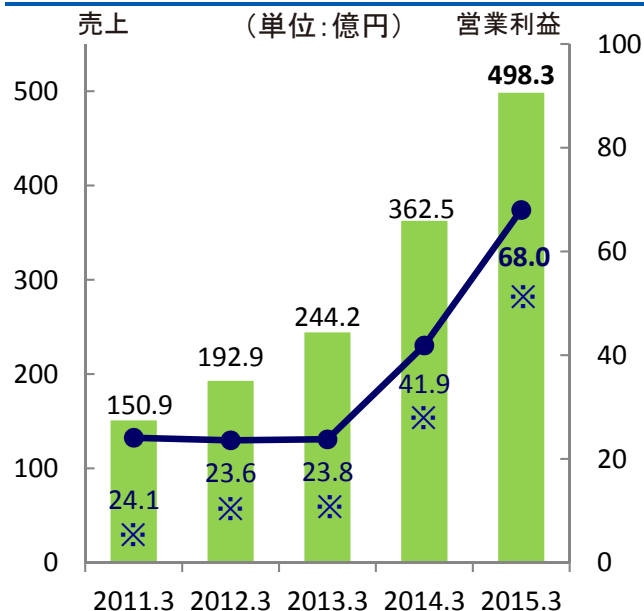
・Partec、Inosticsを除外した前年同期比: 売上113.0%、営業利益74.1%



■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高115.1%、営業利益 58.5%※

- 主要5カ国 : 5カ国全てにおいて増収
  - イギリス : ヘマトロジーに加え凝固分野が好調
  - ドイツ : ヘマトロジー試薬の伸長およびPartec、Inosticsの売上も寄与し増収
  - フランス : 検査室の統廃合によりシステム製品需要が高まりXNシリーズ販売が好調に推移
- その他欧州 : トルコ直販化の影響およびスイスの好調に伴い増収
- 東欧・ロシア : ポーランド等を中心に増収
  - ロシアはルーブルベースでは二桁増収
- 中東・アフリカ : XNシリーズ販売が好調なサウジアラビア等で増収

# 中国における取り組み(所在地別)



※グループ間取引価格の見直し

Copyright by Sysmex Corporation

(単位: 億円)

	2015年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	498.3	362.5	137.5%
営業利益*	68.0	41.9	162.1%

- 市場での販売停滞による影響が一部継続するも、ヘマトロジーや凝固分野を中心に機器・試薬の売上が大幅伸長
- グループ間取引価格の見直しの影響もあるが、増収効果により大幅増益

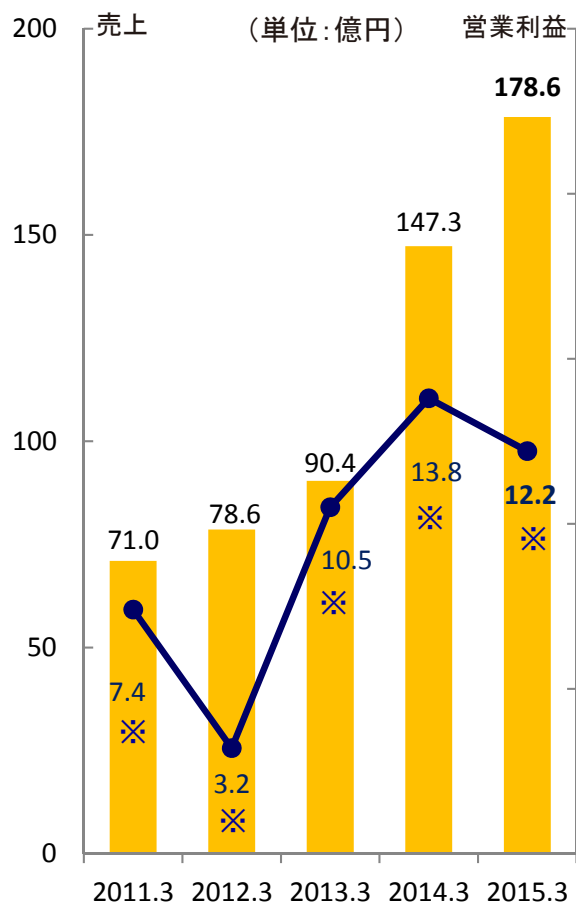
■現地通貨ベース 前年同期比 売上高 126.1%、営業利益 148.7%\*

- ヘマトロジー分野 : システム提案によるXNシリーズの好調に加え、XSシリーズも好調に推移し増収
- 凝固分野 : CSシリーズの拡販および線溶系試薬項目の需要拡大により増収
- 尿分野 : UFシリーズの好調な販売に加え、機器設置台数の増加により試薬売上が伸張し増収
- 免疫分野 : HISCLの販売拡充により増収(3Qより)

# APにおける取り組み(所在地別)



(単位:億円)



※グループ間取引価格の見直し

	2015年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	178.6	147.3	121.3%
営業利益	12.2	13.8	88.5%

- オーストラリアの大幅伸長に加え、タイ・マレーシア等でもヘマトロジー分野が好調に推移し増収

- 増収となるもオーストラリア現地法人設立や、シンガポール試薬工場の拡張に伴う費用の増加に加え、グループ間取引価格の見直し等により減益

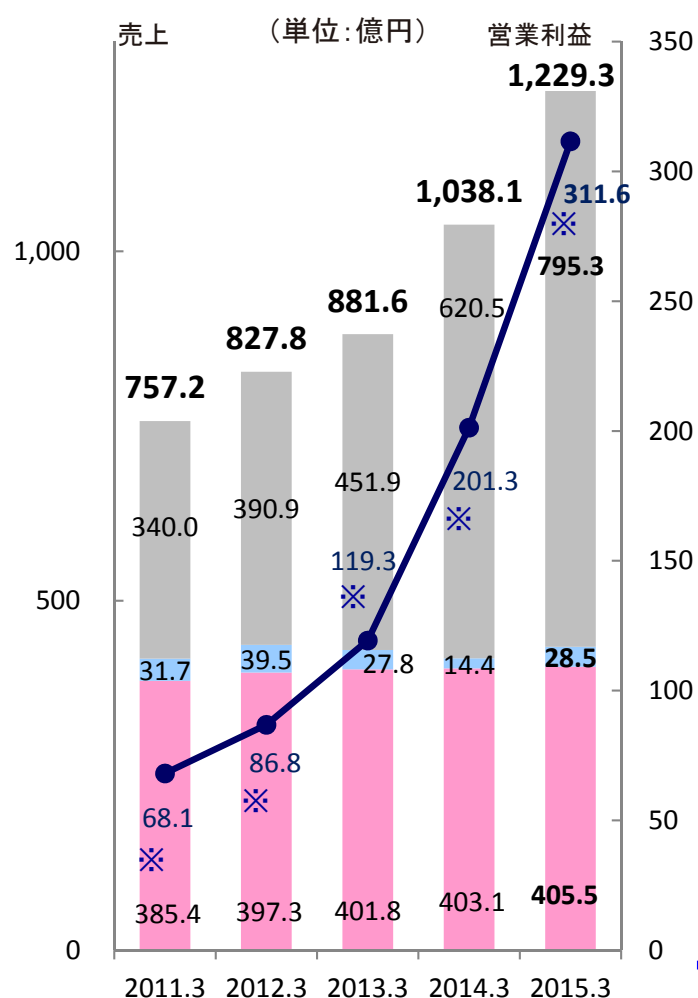
➤ 東南アジア : タイ・マレーシアでのヘマトロジー分野の売上伸長等により増収

➤ 南アジア : インドにおけるノンヘマトロジー分野の直販化による尿、凝固分野およびヘマトロジー分野が好調に推移し増収

➤ オセアニア : オーストラリアの大手検査センターの入札案件獲得によりヘマトロジーシステム製品を中心に増収

➤ 韓国・台湾 : ヘマトロジー分野を中心に韓国・台湾ともに増収

# 日本における取り組み(所在地別)



	2015年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	1,229.3	1,038.1	118.4%
外部	433.9	417.5	103.9%
日本	405.5	403.1	100.6%
IDEXX社等	28.5	14.4	197.1%
内部	795.3	620.5	128.2%
営業利益*	311.6	201.3	154.8%

- 日本市場はヘマトロジー分野・免疫分野が伸長し微増  
グループ関係会社（海外）向けの内部売上の増加および  
グループ間取引価格の見直しの影響により増収増益

➤ 日本: 免疫分野およびヘマトロジー分野を中心に増収

➤ IDEXX社等: 機器売上が好調に推移し増収

- 内部売上高: 関係会社への輸出等
- 外部売上高: IDEXX社等
- 外部売上高: 日本
- 営業利益

※グループ間取引価格の見直しの影響





## Chapter 2

---

# 前中期経営計画(2013年5月公表)の振り返り

# 前中計の振り返り(2013年5月公表)



## <達成率>

2014年3月期(1年目):売上高105%、営業利益110%

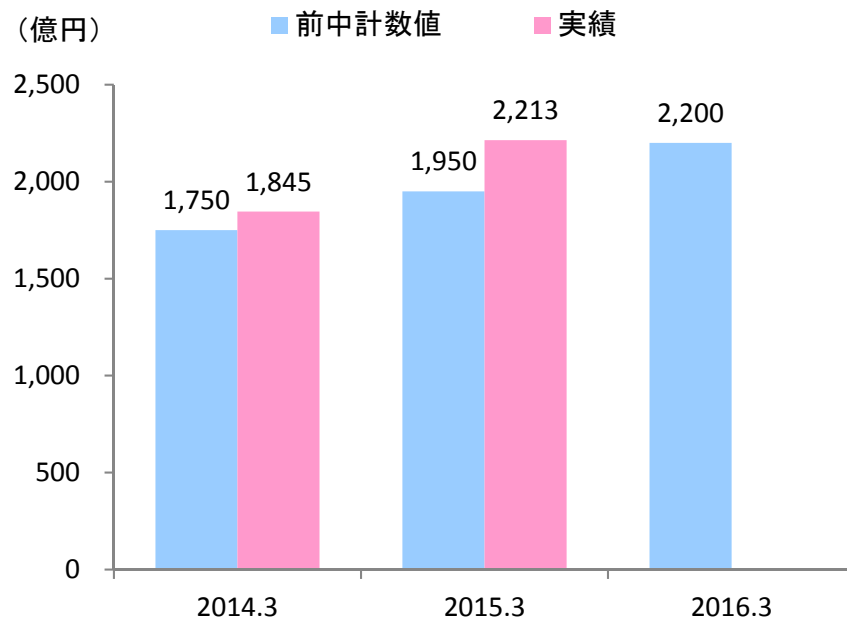
2015年3月期(2年目):売上高114%、営業利益131%

- 売上高 :円安の影響もあり海外を中心に二桁成長により達成
- 営業利益:増収効果および円安の影響もあり達成

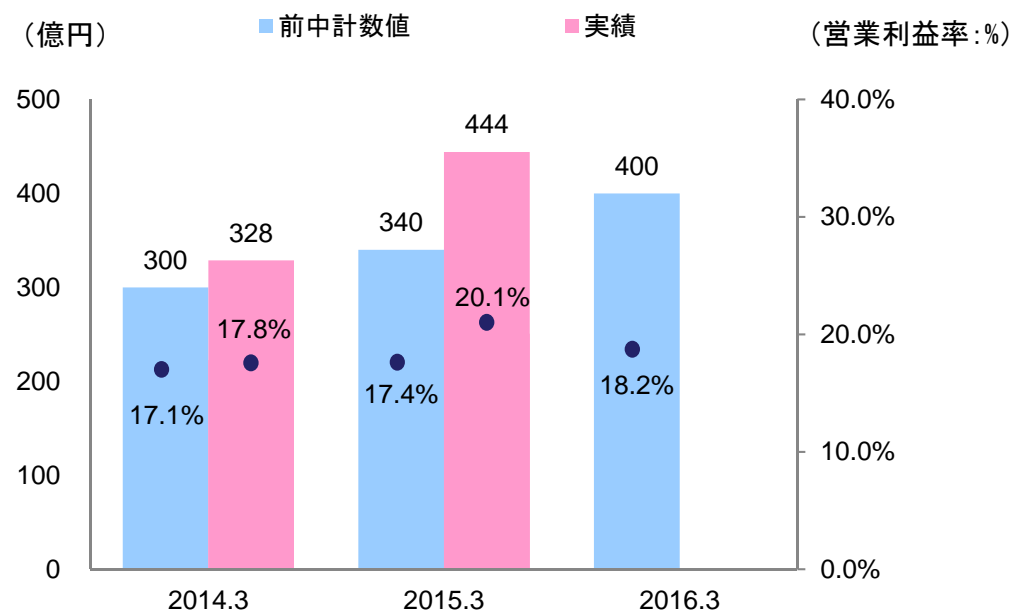
## 為替レート

	前中計レート	2014年3月期実績	2015年3月期実績
1USD	95.0円	100.2円	109.9円
1EUR	125.0円	134.4円	138.8円

## 売上高



## 営業利益



# 前中計の振り返り(2013年5月公表)



## 1. ヘマトロジーにおける絶対的なNo. 1ポジションの強化と収益性の向上(HU-BU)

- 「XNシリーズ」の販売が全地域で拡大し、収益性向上にも貢献
- PartecのFCM(フローサイトメトリー)※1技術を獲得

## 2. 尿分野における成長持続とポートフォリオ強化(HU-BU)

- 尿定性検査と尿沈渣検査を統合した「UX-2000」を発売

## 3. スピード豊かなアジア展開による免疫分野における高成長の実現(ICH-BU)

- 肝線維化マーカー(M2BPGi)、アトピー性皮膚炎マーカー(TARC)等、ユニーク試薬項目の拡充、およびコンパクトモデル「HISCL-800」の市場導入
- 中国市場における「HISCLシリーズ」導入を本格化(2015年3月期3Q)

## 4. 凝固分野における持続的成長を実現するポートフォリオの強化(ICH-BU)

- 機器・試薬製品のラインアップ拡充(CS-2400/2500、CS-1600)
- 米国における「CSシリーズ」の許認可が遅延

## 5. OSNA®ビジネス、ラボアッセイ※2ビジネスの事業化の加速(LS-BU)

- OSNAの適用がん種拡大(大腸がん、胃がん、肺がん)
- 個別化医療に向けた技術プラットフォーム拡充(Inosticsの高感度PCR技術獲得)
- 製薬企業とのコンパニオン診断薬開発、国内外にラボアッセイ拠点開設

※1 微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して、個々の粒子を光学的に分析する手法のこと

※2 検体分析の受託サービス



## Chapter 3

---

# 中期経営計画(2016年3月期～2018年3月期)

## マクロ環境

### ■ 世界経済

- 先進国は安定成長局面へ
- 新興国は潜在的成長力が拡大

### ■ 為替動向

- 円安、原油安の継続
- 国内輸出企業の収益拡大

### ■ 技術動向

- 技術刷新と実用化のスピードが加速
- ウェアラブル端末などのICTの変化

## ヘルスケア・IVD※(検体検査)環境

### ■ 先進国

- 医療費抑制による検査の効率化ニーズ増大
- 個別化医療の進展に伴う検査(診断)の重要性の高まり

### ■ 新興国

- 経済成長による検査需要の拡大

### ■ 競争環境

- M&Aの活発化と異業種からの参入
- 新興国企業の台頭

### ■ 技術革新

- 遺伝子・分子診断技術の進展

ヘルスケア・IVD市場の更なる成長期待

## 既存事業の拡大

### ■ 業績

- 中計の売上・利益目標を1年前倒しで達成し、2,000億円企業へ

### ■ 販売・サービス&サポート体制

- 直販化、会社設立など(韓国、トルコ、コロンビア、オーストラリア)による販売・サービス&サポート機能強化

### ■ 製品ポートフォリオ拡充

- 「XNシリーズ」、「CSシリーズ」の発売

## 更なる成長への基盤構築

### ■ M&A

- Partec買収によるFCM事業基盤獲得
- Inostic買収による個別化医療に向けたがん遺伝子検査技術獲得

### ■ 生産

- 機器・試薬ともに生産能力を増強

### ■ 技術

- 技術プラットフォームの拡充
- 製薬企業・研究機関とのネットワーク拡大

着実な成長を遂げつつ、“新たなステージ”への基盤を構築

長期経営目標:

# 2020年に向けてシスメックスが目指す姿



企業理念

長期経営目標  
(2020年)

中期経営計画  
(2016年3月期～2018年3月期)

■ シスメックスグループ企業理念「Sysmex Way」 -ミッション-  
「ヘルスケアの進化をデザインする。」

■ 長期経営目標 -ビジョン-  
「A Unique & Global Healthcare Testing Company」

# 長期経営目標： ポジショニング



## ヘマトロジー、凝固、尿分野におけるグローバルNo.1(アライアンス含む)

当社の中核事業として、グループの更なる成長を支える収益基盤を構築します。

## アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー

地理的な優位性を発揮し、ヘマトロジー分野以外の免疫等の成長分野においてもアジア市場で確固たる地位を築きます。

## 免疫分野におけるユニークで存在感あるプレーヤー

他社にないユニークな強みを発揮し、中期の成長ドライバーとして、グループの成長を牽引します。

## 個別化医療に貢献する先進的なグローバルプレーヤー

先進的な技術に基づく検査(診断)の価値向上を通じ、グループの成長加速とグローバルな存在感を確立します。

## 価値と安心を提供する魅力あふれる会社

多様なステークホルダーに価値と安心を提供する魅力ある会社を目指します。

## スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

グループ全体で最高のチームワークを発揮し、高効率でスピード豊かな経営を実践する企業体を目指します。



# 中期経営計画 (2016年3月期～2018年3月期)



## 経営数値目標(2018年3月期)

**収益力** 成長と収益力の強化  
 -ヘマトロジー・凝固・尿  
 -アジア地域

**投資** 成長への投資  
 -免疫・FCM・ライフサイエンス

**変革** 変革の推進  
 -ステークホルダーからの  
 更なる信頼の獲得  
 -グループ経営の強化

売上高	3,000億円 (CAGR※ = 10.7%)
営業利益	630億円 (CAGR※ = 12.4%) (営業利益率21.0%)
ROE	18.0%
営業 キャッシュフロー	500億円
フリー キャッシュフロー	200億円

想定レート: 1USD=115円、1EUR=130円、1CNY=18.5円

※CAGR(年平均成長率): 2015年3月期-2018年3月期

収益力

## 成長と収益力の強化

### (1) ヘマトロジー、凝固、尿分野におけるグローバルNo.1(アライアンス含む)

- 「XNシリーズ」の導入加速および新興国での「XN-Lシリーズ」本格導入
- Partecが保有する技術を活用した臨床用FCM製品のグローバル展開
- 凝固「CSシリーズ」の米国を含めたグローバル展開とアライアンスの活用
- 尿製品ラインアップの充実およびグローバルでの販売・サービスの拡充



XN-3000



XN-Lシリーズ

### (2) アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー

- ヘマトロジー、凝固、尿に加え免疫等も含めた総合提案の強化
- 地域ニーズに対応した製品開発および販売・サービス体制の強化
- 検体検査の質向上を目指した学術支援活動の推進

投資

## 成長への投資

### (3) 免疫分野におけるユニークで存在感あるプレーヤー

- 高感度、高スピード、ユニーク項目を活かした「HISCLシリーズ」の導入加速  
肝線維化マーカー(M2BPGi)、アトピー性皮膚炎マーカー(TARC)等
- オンラインサポートを活用したサービス&サポート体制の強化



HISCL-800

### (4) 個別化医療に貢献する先進的なグローバルプレーヤー

- OSNAの適用がん種拡大および海外での販売地域拡大
- Inosticsの技術(BEAMing<sup>※1</sup>)を活用した遺伝子検査ビジネスの拡大
- リキッドバイオプシー<sup>※2</sup>を実現する研究開発力の強化

※1 Bead, Emulsion, Amplification, and Magneticsの各頭文字を省略したもので、Digital PCR(高感度PCR)技術とフローサイトメトリー技術を融合させた遺伝子解析手法

※2 血液や体液から、がんなどの疾病の検査を行うこと

変革

## 変革の推進

### (5) 価値と安心を提供する魅力あふれる会社

- 多様なステークホルダーとのコミュニケーションの強化
- 学術およびサービス&サポート機能の強化による顧客満足度の向上

### (6) スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

- グローバルに活躍できる人材の獲得とグローバル コミュニケーション センターを  
活用した人材育成
- リスクマネジメントの強化およびICTを活用したグループ経営基盤の強化



グローバル コミュニケーション センター  
Sysmex Corporation

収益力の向上および持続的な企業価値向上に向けた積極的な投資とともに適正な株主還元を行い、ROE18.0%を目指す。

## 収益力

### 成長と収益力の強化

- ・ヘマトロジー
- ・凝固
- ・尿
- ・アジア地域

## 株主還元

- ・継続的な安定配当
- ・配当性向の目途  
20%→30%に変更

## 内部留保

### 投資

#### 成長への投資

- ・免疫
- ・FCM
- ・ライフサイエンス

研究開発

M&A

設備投資

### 変革

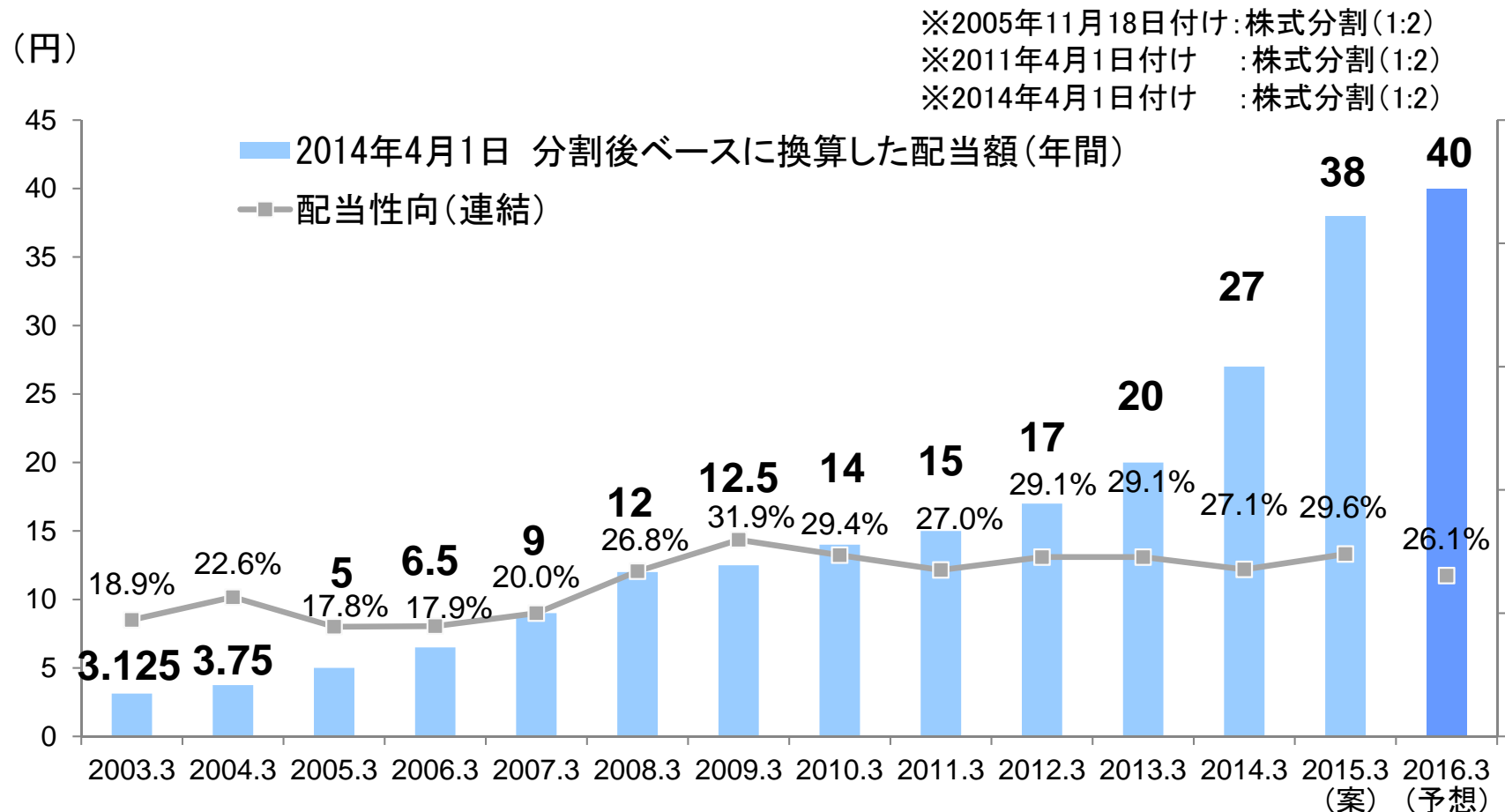
#### 変革推進への投資

- ・ITインフラ、人材獲得と育成 等

# 14期連続の増配(2016.3期予想)



シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向**30%**を目処に配当を行ってまいります。





## Chapter 4

---

# 2016年3月期 業績予想

# 連結 通期業績予想



## 2016年3月期 連結業績予想

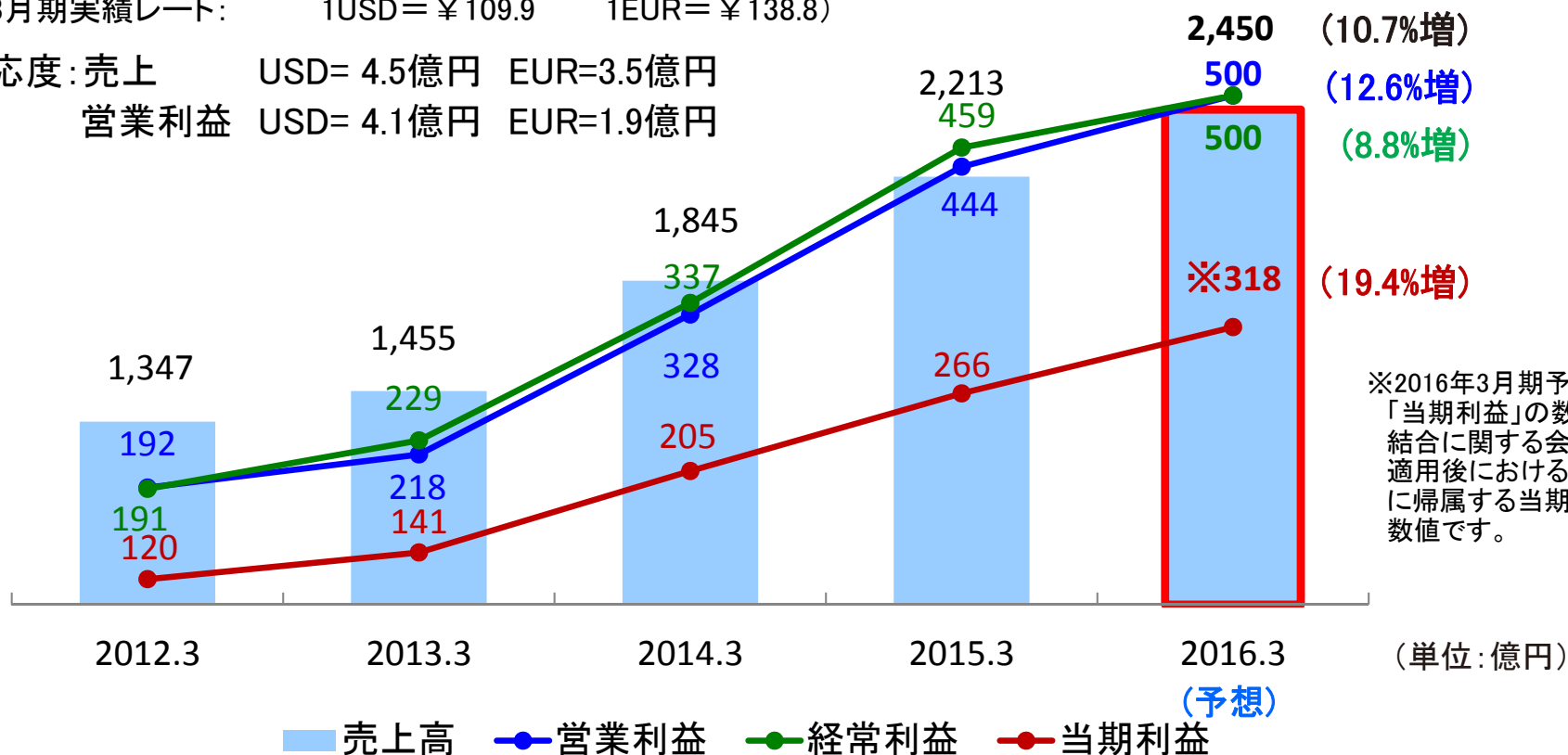
- 売上高 : 2,450億円
- 営業利益 : 500 億円
- 経常利益 : 500 億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : 318 億円
- 営業利益率 : 20.4%
- 経常利益率 : 20.4%
- 親会社株主に帰属する当期純利益率 : 13.0%

### 投資計画

- 設備投資 : 160億円
- 減価償却費 : 124億円
- 研究開発費 : 162億円

通期想定為替レート: 1USD = ¥115.0 1EUR = ¥130.0  
 (2015年3月期実績レート: 1USD = ¥109.9 1EUR = ¥138.8)

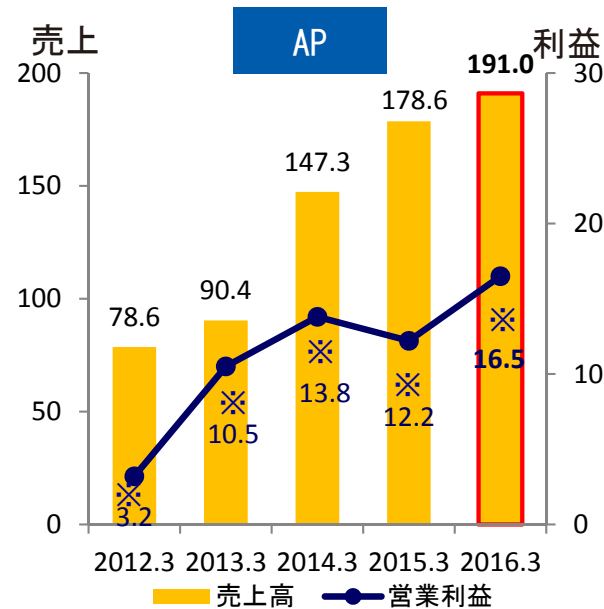
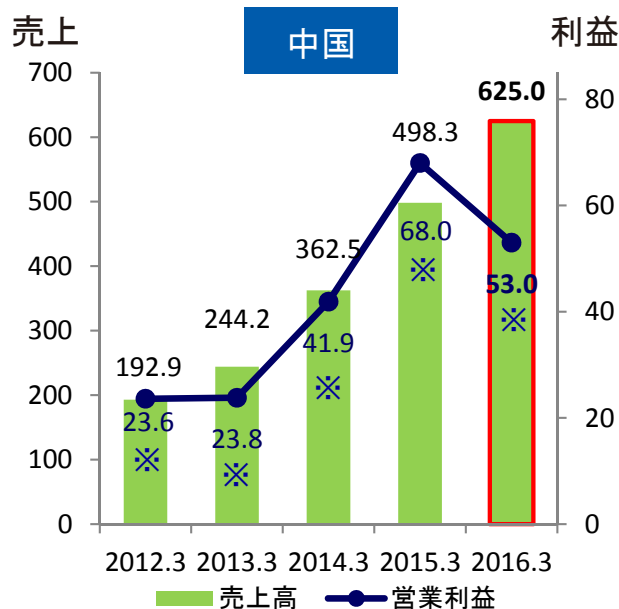
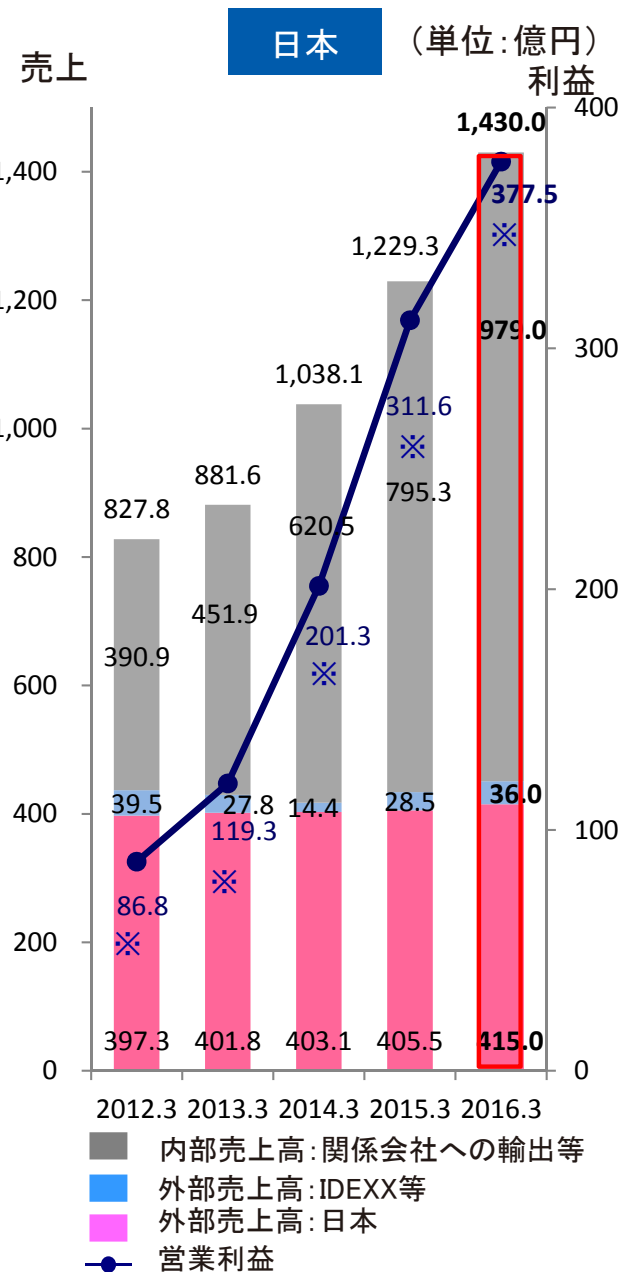
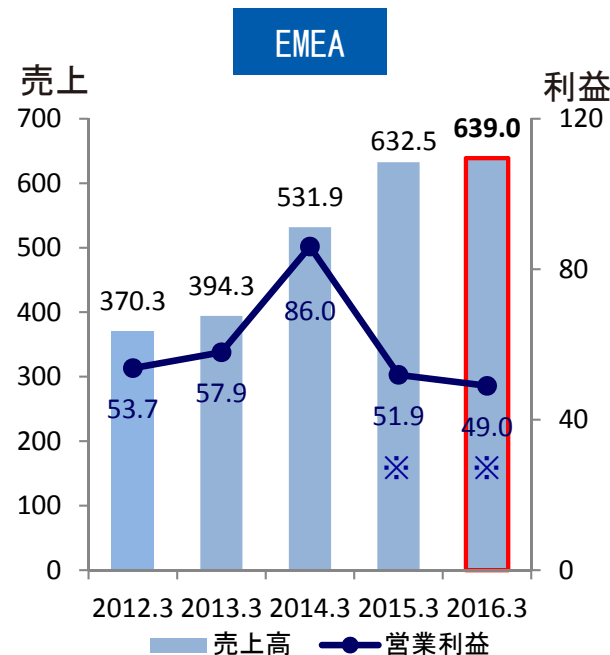
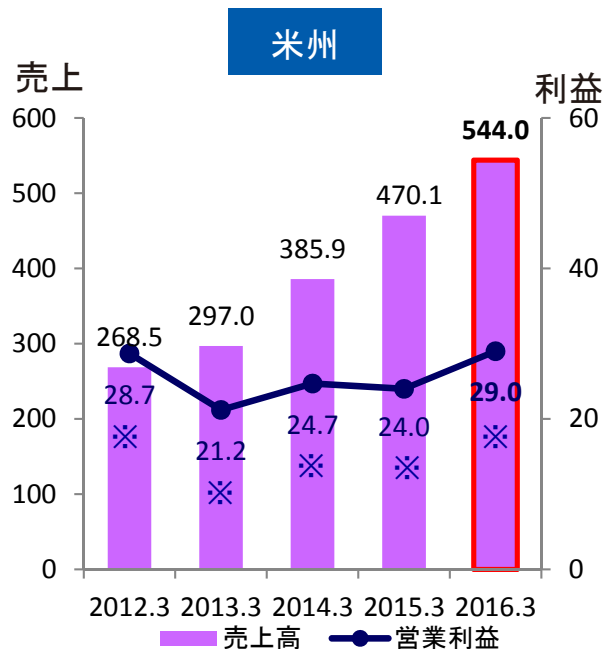
為替感応度: 売上 USD= 4.5億円 EUR=3.5億円  
 営業利益 USD= 4.1億円 EUR=1.9億円



※2016年3月期予想における「当期利益」の数値は、企業結合に関する会計基準等の適用後における「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値です。



# 所在地別 通期業績予想





補足資料

---

中期経営目標

# 中期経営目標



(単位: 億円)

## ● 連結損益計算書

		2016年3月期	2018年3月期
売上高	日本	415	440
	海外	2,035	2,560
売上高		2,450	3,000
営業利益		500	630
	営業利益率	20.4%	21.0%
経常利益		500	630
親会社株主に帰属する当期純利益		318	400

## ● 所在地別売上高 営業利益

			2016年3月期	2018年3月期
日本	売上高	外部売上高	451	478
		内部売上高	979	1,206
	売上高		1,430	1,684
	営業利益		377	459
営業利益率		26.4%	27.3%	
米州	外部売上高		544	634
	営業利益		29	40
	営業利益率		5.3%	6.2%
EMEA	外部売上高		639	784
	営業利益		49	70
	営業利益率		7.5%	8.2%
中国	外部売上高		625	870
	営業利益		53	77
	営業利益率		8.5%	8.9%
AP	外部売上高		191	234
	営業利益		16	24
	営業利益率		8.5%	10.2%

# 中期経営目標



(単位:億円)

## ● 事業別売上高

	2016年3月期		2018年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
HU-BU	1,760	71.8%	2,075	69.2%
ヘマトロジー	1,563	63.8%	1,800	60.0%
尿	172	7.0%	205	6.8%
その他 <sup>※1</sup>	25	1.0%	70	2.3%
ICH-BU	492	20.1%	666	22.2%
免疫	75	3.1%	200	6.7%
生化学	40	1.6%	40	1.3%
凝固	377	15.4%	426	14.2%
LS-BU	43	1.8%	100	3.3%
その他 <sup>※2</sup>	155	6.3%	159	5.3%
売上高 計	2,450	100.0%	3,000	100.0%

※1 臨床用FCM製品等

※2 臨床検査情報システム(従来「HU-BUその他」に区分)、仕入商品(従来「その他IVD」に区分)、研究用・産業用FCM製品等

# 中期経営目標



- 投資計画： 2016年3月期～2018年3月期(3年間累計)

設備投資	460億円
減価償却費	400億円
研究開発費	600億円

- 為替レート： 2016年3月期～2018年3月期

1USD = 115.0円

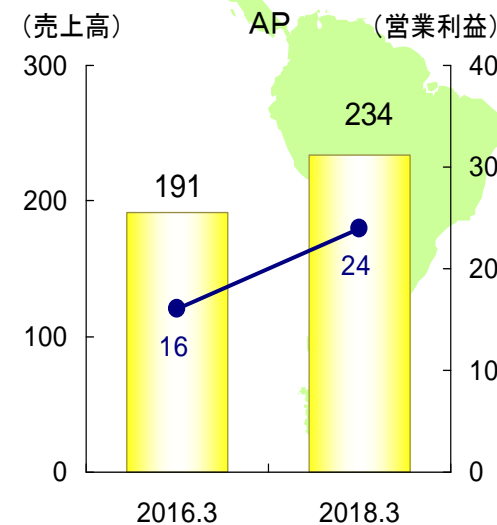
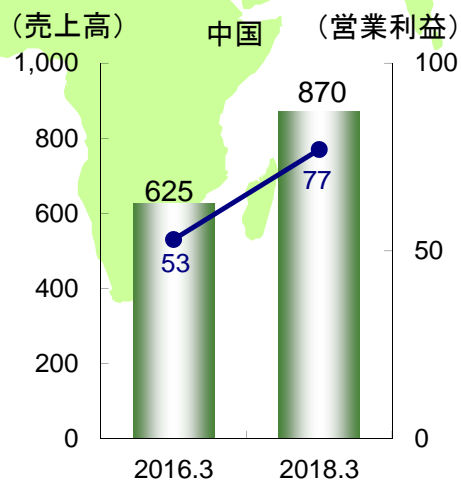
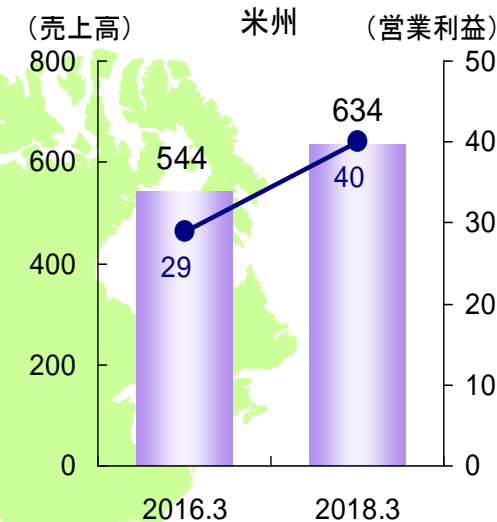
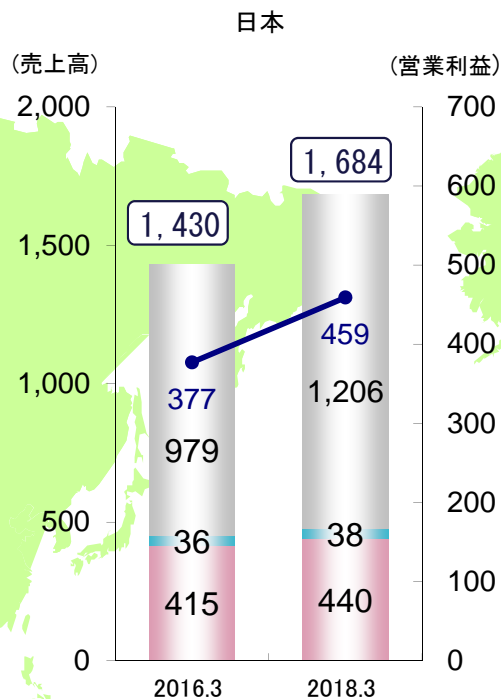
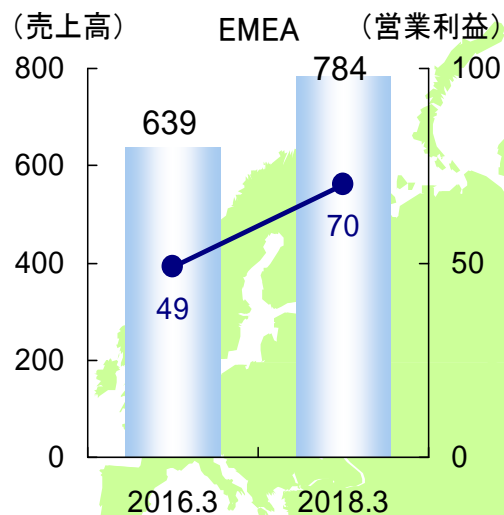
1EUR = 130.0円

1CNY = 18.5円

# 中期経営目標 —所在地別売上高・営業利益—



(単位:億円)



- 内部売上高: 関係会社への輸出等
- 外部売上高: IDEXX社等
- 外部売上高: 日本
- 営業利益



## 参考情報

---

# 参考①: 前期からの主な変更点



※P40(参考情報)参照

(1) 製品運送費を販売管理費から売上原価に変更

※2014年度3月期についても遡及適用

・2014年3月期: 販売管理費→売上原価: 11.3億円

・2015年3月期: 販売管理費→売上原価: 16.6億円

(2) 機器製品のサービスコストを販売管理費から売上原価に変更

・2015年3月期: 販売管理費→売上原価: 130.5億円

(3) 米州のサービス繰延収益の取崩に伴う一時的な売上・利益増加

・2015年3月期第1四半期のみ売上+4.2億円、営業利益+3.6億円

(4) 2015年3月期には以下の関係会社を含む

Partec、Inostics、シスメックストルコ、シスメックスオーストラリア、メディカロイド、理研ジェネシス

(5) グループ間取引価格の見直し

-米州、EMEA、中国、AP、日本 ※EMEAは当期より初めて実施

(6) 子会社からの配当に関する税金費用見積り方法の変更(2015年3月期4Qに実施)

-配当原資として見積り対象とする子会社の利益剰余金の割合を70%から100%に変更

影響額: 法人税等調整額+22.7億円、繰延税金負債+22.7億円



# 参考②: 表示組替前の前年同期比較



(単位: 億円)

	2014年3月期		2015年3月期 (会計表示の組替等①②を除外した数値)			会計表示の組替等		2015年3月期	
	実績	構成比		構成比	前年同期比	①サービスコスト	②サービス繰延収益の取崩	実績	構成比
売上高	1,845.3	100%	2,209.5	100%	119.7%	-	4.2	2,213.7	100%
売上原価	※ 699.4	37.9%	822.7	37.2%	117.6%	130.5	0.6	953.8	43.1%
売上総利益	※ 1,145.9	62.1%	1,396.9	62.8%	121.0%	△130.5	3.6	1,260.1	56.9%
販売管理費	※ 817.2	44.3%	946.5	42.8%	115.8%	△130.5	-	816.0	36.9%
営業利益	328.7	17.8%	440.5	19.9%	134.0%	-	3.6	444.1	20.1%

※製商品を顧客へ届けるための運送費を販売管理費から売上原価に計上する方法にグループ内で統一しました。  
2015年3月期に加え、2014年3月期も遡及適用後の数値となります。

# We Believe the Possibilities.

## シスメックス株式会社

<お問合せ先>

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話：078-265-0500

メールアドレス：info@sysmex.co.jp

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)